

## にちなん中国山地林業アカデミー「卒業生の今」

「日南町立林業アカデミー（通称・にちなん中国山地林業アカデミー）は全国初の町営の林業学校として平成31年4月に開校しました。今回、第1期卒業生7名の中から日南町内の林業会社で頑張っておられる2名の「卒業生の今」取材しました。



同校の校舎は、日南町多里の旧多里保育園を改修したもので、演習林は、全国最大規模の668ヘクタールの広さです。実践的な現場研修による技術と知恵、専門家の講義による最新の林学と教養を学ぶことができ、

林業の担い手として即戦力となる人材を育成しています。

林業アカデミーの第1期生は専任指導員の指導のもと、機器の手入れ、作業道の草刈、伐採、下刈り、雪おこし作業、枝打ち、間伐、ドローンの活用、最新のICT林業、マーケットインによる林業経営などなど、充実した1年間のカリキュラムと複数の林業会社でのインターンシップを終えて今年度から林業の現場に就業しています。



アカデミー第1期生の卒業式

### 地域で頑張る アカデミー第1期生



日南町森林組合  
こだに まさひろ  
小谷昌央さん  
(28歳 日南町出身)



間伐作業の現場でフォワーダによる集材運搬を担当しています。インターンシップでは気長に待っていただきましたが、当然、仕事では手際の良い作業が求められます。木材の積み込み積み下ろしの能率が上がり苦勞していますが、だからこそ上手になりたいという思いがとて強くなりました。グラップルで木材をフォワーダに積み込み、運搬して土場に積み下ろすまでのタイムを自分で計り、効率が良い積み方や仕分けを試行錯誤しながらやっています。先輩に指導を受けながら、達成感のある仕事をするためにこれからも頑張ります。

**勤務先の先輩からの一言** 仕事の段取りや効率のよい順序を把握してくれます。あせらずゆっくり、ひとつずつしっかりできるようになってもらえればと思っています。



株式会社神戸上農林  
しおた りん  
塩田凜さん  
(20歳 米子市出身)



間伐作業の現場でチェーンソー伐倒とフォワーダでの集材運搬を担当しています。チェーンソーで木を伐る時は、どの方向が集材しやすくなるのかを自分で決めています。伐倒方向を間違えるとその後の作業効率が悪くなるので注意しています。早く慣れて生産性を上げたいと思っていますが、本当に全てがまだまだです。ただ、間伐してすっきりした山を見ると嬉しいです。今後はハーベスタでの造材や路網開設など、なんでもできるようになりたいです。先輩は日南町林業まつりのグラップル選手権の上位入賞者です。自分も重機の運転が好きなのでいつかは挑戦したいです。

**勤務先の先輩からの一言** 仕事を覚えてなんでもできるようになってほしい。まずは体力をつけて山歩きについてこられるように頑張ってください。



【位置図】

◇平成7年の阪神淡路大震災では、橋の倒壊、落下等、多くの被害が発生しました。特に、昭和55年以前の古い設計基準を適用した橋梁に被害が多くありました。鳥取県では、大規模地震時に被災地の孤立を防ぐとともに被災地への救援活動や緊急物資の輸送路を確保するため、橋の倒壊、落下等が発生しないように耐震補強を行っています。

◇「南大山大橋」は、江府町の防災基地と国道482号を結ぶ、防災上重要な橋ですが、昭和44年に架けられたため、古い設計基準で作られており、防災道路ネットワーク上、十分な構造となっていないことから、災害時の救援活動や緊急物資の輸送に影響が出る可能性があります。そのため、今回、耐震性能の向上を図るとともに、あわせて現在の14t車までの車両制限から大型車(25t車)の通行も可能となるように補強工事を実施しています。

現場周辺や工事車両が通行する道路の近くにお住いの皆様には、大変、御不便をおかけしますが、御理解と御協力をよろしくお願い致します。



作業風景(当て板補強)



全景写真

「防災機能の向上を目指して」  
「南大山大橋」の  
補強工事を実施しています